

さわか村

No
185

令和8年8月

みんが議会 だより

題字：鮫川小学校

6年 ^{ほんごう そうと} 本郷 想人 さん



6
月
定
例
会

令和8年度 一般会計・
特別会計・公営企業会計
補正予算など可決……2～3
議案調査・視察研修……4～5
一般質問に5議員登壇…7～11
ふるさと鮫川への想い……12

650万円増額

6月
定例会



暮らしに欠かすことができない水



6月定例会の
あらまし

6月定例会が6月10日から12日までの3日間の会
期で開催されました。

第1日目に、一般質問を行い5名の議員が登壇し、
不法投棄防止対策、未利用公共施設の活用や義務
教育学校建設など様々な問題を取り上げ、村政を質
しました。

次に、報告2件の内容の説明があり、その後専決処
分1件の内容説明、原案どおり承認されました。

また、条例の一部改正2件、令和8年度補正予算
5件の提案理由の説明がありました。

第2日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任
委員会を開き、議案を審議しました。

最終日、審議した条例、補正予算等を含む7件を
原案どおり可決しました。

また、請願1件を採択し、議員発議により意見書の
提出1件を追加提出し、原案どおり可決しました。

さらに、鮫川村農業委員会委員の任命同意8件、
鮫川村固定資産評価審査委員会委員の選任同意
1件が、村長より追加提出され、原案どおり同意され
ました。

報告 令和7年度 繰越明許費繰越計算書

事業名	翌年度繰越額
社会保障・税番号制度システム整備事業	4,642,000円
老人福祉計画策定事業	4,620,000円
農業用水路修復事業	17,414,000円
広葉樹林再生事業	56,199,000円
地域げんき商品券発行事業	46,847,000円
道路舗装補修事業	15,578,000円
橋梁維持補修事業	3,000,000円
公立学校等複合施設建築実施設計事業	100,020,000円
公立学校等複合施設地形測量事業	10,000,000円
公立学校等複合施設地質調査事業	45,000,000円
公立学校等複合施設用地造成基本設計応用測量事業	22,000,000円
合 計	325,320,000円

鮫川村農業委員会委員

任期 令和8年7月20日
～令和11年7月19日

芳賀 義美 (新任) 全員賛成
(赤坂東野・大石草)

蛭田 茂 (新任) 全員賛成
(渡瀬・田野上)

関根 政一 (新任) 全員賛成
(西山・西野内)

阿久津 修司 (新任) 全員賛成
(赤坂西野・滑石)

國島 敦志 (新任) 全員賛成
(富田・鎌木田)

人 事

岡部 明 (再任) 全員賛成
(青生野・赤小名)

小瀧 慎一 (新任) 全員賛成
(赤坂中野・新宿)

鈴木 眞理子 (新任) 全員賛成
(赤坂西野・大塩)

鮫川村固定資産評価 審査委員会委員

任期 令和8年7月20日
～令和11年7月19日

鈴木 幹男 (新任) 全員賛成
(赤坂東野・藤ノ草)

補正予算 一般会計

飲料水確保対策事業に

補正予算の状況

会計別	補正額	補正後の予算額	議決状況
一般会計	155万円	36億4055万円	全員賛成
特別会計			
国保事業勘定	1042万円	4億9730万円	全員賛成
介護保険	44万円	5億5633万円	全員賛成
合計	1241万円	46億9418万円	
公営企業会計	補正額	補正後の予算額	議決状況
簡易水道事業			
収益的支出	△563万円	8353万円	全員賛成
資本的支出	563万円	4520万円	
集落排水事業			
資本的支出	163万円	1791万円	全員賛成



一般会計補正予算の主な事業

歳入	福島再生加速化交付金事業費(自家消費野菜等放射性物質検査事業補助金)	489万円
	農政推進事業費(地域計画担い手確保支援事業補助金)	81万円
歳出	保健センター空調設備改修設計監理業務	360万円
	飲料水確保対策事業補助金(ボーリング工事費用等の2分の1補助、上限100万円)	650万円
	アスベスト事前調査業務 (村営住宅前田団地の解体工事を実施するにあたり、アスベスト含有調査費用)	19万円



村営住宅として終わりを迎える前田団地

第3回 臨時会

6月22日召集、一般会計補正予算及び工事請負契約の締結の2議案が提出され、原案どおり可決されました。

会計	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
一般会計	36億4055万円	340万円	36億4399万円

【補正内容】

物価高騰に伴う子育て世帯に対する支援事業
(児童手当受給者に対し、こども一人あたり12,000円を支給)

全員賛成

- ◆ 契約目的 令和8年度
村道姿平鹿角平線改良工事
- ◆ 契約金額 83,600,000円
(うち消費税額 7,600,000円)
- ◆ 相手方 小松重機土木有限会社
取締役 小松 次男

全員賛成

提出議案を徹底調査

議案調査



事業内容の説明を受けた合同議案調査

飲料水確保対策事業に 650万円

令和8年度一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算を総務文教・産業厚生両常任委員会で調査しました。

産業厚生 常任委員会

問 飲料水確保対策事業
650万円

答 ポーリング等工費用
の総額の二分の一、上限
100万円を補助する
費用

問 アスベスト事前調査業務 19万円

答 令和9年度解体予定の前田団地アスベ
スト調査費用

問 保健センター空調設備改修設計
360万円

答 ガス空調システム改修工事の施工に要す
る設計及び監理業務費用

総務文教 常任委員会

問 アルコール検査代行業務
41万円

答 スクールバス運転業務
職員のアルコールチェ
ック代行システム費用

問 英語宿泊研修追加負担金 3万円

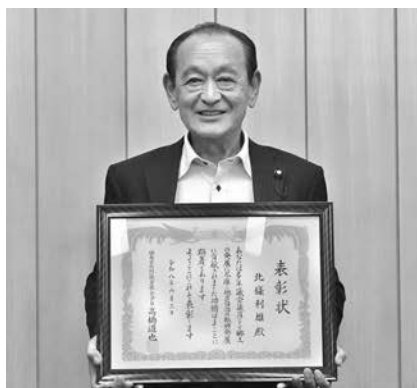
答 プリティツシユヒルズ英語宿泊研修に
要する宿泊費等の追加費用

自治功労者 表彰

議会議員として11年以上在職し、
議会の運営、地方自治の発展に尽力
されました。



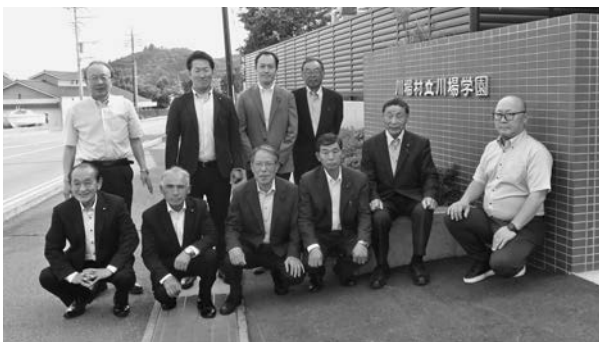
遠藤 貴人 議員



北條 利雄 議員

視察研修レポート

群馬県川場村へ 視察研修に行ってきました



6月18日～19日 群馬県川場村へ義務教育学校の視察研修に行ってきました。道の駅「川場田園プラザ」が全国モデル道の駅に選ばれるなど素晴らしい道の駅がある、人口2,899人(2026年5月末現在)の自然豊かな村です。

令和7年開校した川場学園。川場村の教育長は、義務教育学校設立に関して村民の反対意見は意外と少なかったと話す。村長が代わっても教育に関するブレない考え方が受け継がれていて方針が変わらなかったのがよかったと話していました。また、小中学校を一貫校にすることによって、学校の子どもの数が県内でも7番目となった。教職員の数も県内2番目の多さとなり、手厚い教育ができメリットが大きかったと話していました。

町村議会 広報研修会に参加

7月1日 ビッグパレットふくしまにて参加しました。



福島第一原子力発電所へ 視察研修

7月15日 廃炉の進捗状況と処理水海洋放出等の現状を視察してきました。



議員5人が登壇ズバリ!! 村政を問う!



P 7

みどりかわ しげる
緑川 茂 議員

- 農地の地域計画策定
- 不法投棄防止対策



P10

あお と よし ゆき
青戸 義之 議員

- 農業の安定経営、維持施策



P 8

ほうじょう とし お
北條 利雄 議員

- 未利用公共施設の利活用
- 義務教育学校建設費用と建設時期



P11

ほん ごう ひろ よし
本郷 弘義 議員

- 中東情勢による財政への影響と対策
- 文化芸術への理解と支援



P 9

くぼ き こう いち
窪木 浩一 議員

- 義務教育学校

一般質問は、議員の日常生活を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。



議事の進行

まえ た たけ ひさ
前田 武久 議長



出席議員

えん どう たか ひと
遠藤 貴人 議員



出席議員

もり た たか ゆき
森 隆之 議員



出席議員

もり た しげ お
森田 重男 議員



緑川
茂
議員

問

農地の地域計画策定の課題と対策は

答

持続的に営農できる環境を整える

質問

村の基幹産業である農業は、農業従事者の高齢化と後継者としての担い手不足が年々深刻さを増している。この担い手不足によって将来耕作放棄地が拡大し、有害鳥獣による被害影響や自然豊かな景観を維持する観点からも、長期的な対策が必要である。このため現在村では地域計画策定が進められているが、進捗状況と進めていくうえでの課題と対策は。

答弁(村長)

地域計画は、およそ10年を見据え、誰がどの農地をどの様に耕作するかを具体的に地図に落とし、農業の持続的発展を目指すものである。令和7年3月に策定し公表した。毎年見直しを行うことになっており、今年3月に計画更新を行った。村内9つの区域に分け、地域農業の現状と課題を整理し、将来のあり方と集約化の目標を掲げている。今後の課題は、担い手確保で



地域の景観を守っている田植え後の農地

再質問

ある。新規就農者と農業後継者の育成、また、就農者が地域に定着し、持続的に営農できる環境を整えることが重要である。

村では、令和6年度から「鮫川村未来へつなぐ多様な農業担い手応援事業」という制度を設けたが、6年度と7年度の2年間での活用実績は。

答弁(産業振興課長)

4つの補助事業のうち、新たな担い手応援事業で、新規就農者に対し年間60万円の支援が1件である。また、担い手への機械導入等の経費の一部支援事業では、6年度7件、7年度6件である。

問
不法投棄防止対策への取り組みは

答
関係機関等と連携し未然防止に努める

質問

県では、6月と10月を不法投棄防止強調月間と定めている。不法投棄は、村の自然景観を損ねると共に、環境汚染につながる悪質な犯罪行為である。近年は不法投棄に対する意識が高まってきたように思われるが、時々道路脇の空き地へゴミが捨ててあったり、林道等の人目につきにくい所に、廃タイヤなどの廃棄物が見受けられる。村ではパトロールを行い、回収をしているが、年間の回収処理状況及び不法投棄防止への取り組みは。

答弁(村長)

平成15年の納税組長会議において、不法投棄防止宣言が決議された。以来村民協力のもと道路河川のクリーンアップ作戦をはじめ、不法投棄監視員や各種ボランティアと協力し、環境美化に努めてきた。昨年度は職員により、廃タイヤ94本、テレビ10台、冷蔵庫3台などを回収、シルバー人材センター

再質問

村内各所に設置してある不法投棄防止を図るための看板の文字が、薄くなっているのが多く見受けられる。点検し取替えるべきと思うが。

答弁(村長)

人はきれいな所に物を捨てることに抵抗感がある。巡回のなかで情報を得ながら対処する。



自然環境が損なわれる廃棄物



問

未利用公共施設の利活用の 考え方の整理は

答

検討手順の整理を進める

質問

未利用の公共施設は、その存在が村の魅力を損なわせたり財政的負担を増やしたりすることのないよう、利活用方法の検討が求められる。公共施設等管理計画や個別施設計画の基
本方針に基づく公共施設廃止後の施設利活用の考え方が不安定である。村有財産の無償貸与議案の上程と撤回の混乱、有償無償の在り方、施設解体、売却なども含めて、利活用に係る基本方針や、基本的な



未利用公共施設の1つ「ほっとはうすの本館と体験館」

流れを基に、廃止後の利活用を検討すべきである。村事業等への利活用、地域団体等による公共目的での利活用、民間事業者等による営利目的での利活用、施設の利活用が見込めない場合に分け、検討する際の留意点等を付して考え方を策定すべきでは。

答弁(村長)

公共施設等総合管理計画等に基づき、公共施設の適正管理や統廃合等を進めている。用途廃止後の具体的な利活

用の進め方については、整理すべき部分がある。と認識。施設の設置目的や立地条件、地域の実情などを踏まえ、公共性の高い活用を優先し、地域団体による活用や民間活力の導入も検討していく必要がある。継続的な利活用を見込めない場合には、売却や解体等を含め、施設ごとに適切な方向性を判断する。施設の老朽度、改修費用、維持管理費、地域への影響、広域性、公平性、財産価値などを踏まえ、透明性と一貫

性のある判断が必要である。未利用公共施設の利活用に関する基本方針や検討手順の整理を進め対応する。

問 義務教育学校建設費と建設時期の対応は

答 現場の進捗状況を見極める

質問

義務教育学校建設は32億円の建設費用が予定されている。施設のコンパクト化などを図っても経費の上昇や増大は避けられないと考える。国庫補助は原則2分の1(本村の予測では55%17億6千万円)、地方債や一般財源等の組み合わせとなる。国(文部科学省)は小中一貫教育を推進しているが、補助制度の見直しはこれらに対応したものがない。建設資材不足は、主要資材全体では「需給均衡」とされる一方、中東情勢などの影響で塗料・断熱材など一部ナフサ

系資材の供給不安と価格高止まりが続いている状況がある。建設事業費の増大や建設時期の遅延も想定される。これらへの対応と考えは。

答弁(教育長)

整備財源は、過疎債、国庫負担金、各種補助金及び村の自主財源を計画的に充当。過疎債は、将来にわたる財政健全化の維持のため、必要最小限に抑制。主要な財源となる国庫補助金、公立学校施設整備費負担金等を補充。実勢価格との乖離を埋める拡充を国へ強く要望する。県の補助金も、既存メニューを最大限に活用し、一貫校の整備に適した新たな支援制度の構築を働きかける。原材料高騰や、工事遅延への懸念は事実。工事遅延のリスクを最小限に抑えるため、高い施工管理能力と確実な資材調整力を有する事業者と業務締結。資材の費用動向を把握し、現場の進捗状況を見極める。



窪木 浩一 議員

問 こどもセンターの 段階整備はどのような判断か

答 子どもにとって 何が一番大事かという点で判断

質問

義務教育学校と一体的に整備予定だった、こどもセンターが段階整備とする方針が示されたが、どのような判断での決定か。

答弁(村長)

意見・要望を総合的に検討し、最終的には私が判断した。現時点で義務教育学校の整備を優先し、こどもセンターについては段階整備とした。

再質問

生活環境や安全な動線、園庭などが方針決定の主な理由の中、現場を良く知る職員や保護者の多くが同時整備を望んでいるが、これらの声をどう反映させたのか。

答弁(村長)

計画が進む上で様々な意見があり、子どもにとって何が一番大事かという点で判断した。現こどもセンターでの様々な問題は今後改修により対応する。

再質問

建築資材の高騰や物価上昇、金利上昇リスクなどを考慮すると将来建設する方が事業費が増加する可能性がある。また村の人口推計や年齢構成から税収・生産年齢人口の減少など、財政規模が現在より厳しくなる可能性も予想されるが、将来世代への負担軽減という具体的根拠は何か。

答弁(村長)

義務教育学校とこどもセンター整備が同時期に集中することを避け、財政負担の平準化ができると考える。

再質問

より厳密な財政シミュレーションがあつて初めて具体的根拠として判断できると思うが、同時整備・段階整備それぞれの総事業費や財政シミュレーションは行っているか。

答弁(村長)

詳細な設計内容に基づく総事業費や長期的な財政シミュレーションの比較は行っていないが、近いうちに提出したい。

再質問

現在、実施設計段階に入っているが、こどもセンター関連の設計費用の扱いはどうなるのか。また将来建設する場合は改めて設計費用等が必要か。

答弁(教育長)

こどもセンターは現段階で実施設計作業に入っていないので、変更契約により削減し実施設計費用には含まれないが将来的に建設する場合には改めて費用が必要となる。

再質問

段階整備とは将来的な整備を確約するものか、それとも将来の財政状況や社会情勢を見ながら改めて判断するという意味なのか確認したい。

答弁(村長)

村長の任期は4年で、来年であり、その中で何年後にこどもセンターを建設するという確約はできない。状況を鑑みてその時の村長が判断する。

再質問

村長は現在の鯨中・鯨小を「危険校舎」と定義し、発言しているが、「危険校舎」とは文科省の調

査により構造上危険であると認定された校舎を指し、認定を受けてないのであれば誤解が生じるが、文科省の認定を受けているのか。

答弁(村長)

認定を受けている訳では無い。独自に調べた結果として鯨中・鯨小の校舎は危険と私が判断した。



継続利用されるこどもセンター

問

米の価格の変動対策は

答

米価下落に対して支援策を講じる

青戸
義之議員



質問

米農家が田植えを終え、今年の米の価格がどのように変動していくのが懸念される。極端な価格の低下があれば経営が困難になり、適切な収入が得られなければ維持が難しくなる。また、肥料や資材の高騰、物価高など、諸課題が多々ある。

今後、国の施策の動向を見ていかなければならないが、村としても、今後の状況を見据えて施策を講じていく必要があると考えるが、対策は。

答弁(村長)

米価の先行きの不透明感、肥料や資材、燃料の高騰など、米農家の抱える不安は多岐にわたっている。本村にとつて、農業の稲作は地域経済の基幹産業であり、豊かな自然と景観を維持する上で、不可欠な存在である。米価に対する国の施策の動向については、最も注視すべき点であり、農林水産省をはじめ関係省庁からの情

報収集に努め、米価の安定対策や経営支援策を速やかに把握していく。これと同時に、村としても、先を見据えた具体的な施策を講じていく必要があると考えている。米価下落に対しては、現存の米価下落対策基金による支援を検討し、速やかな支援策を講じられるよう適宜対応していく。また、農家の声に耳を傾け、国や関係機関と密接に連携しながら持続可能な農業の確立と経営の安定に全力を尽くしていく。



価格が高騰する肥料



懸念される米価の変動



豊作が望まれる稲作



本郷弘義議員

問 中東情勢悪化による 財政への影響と対策は

答 事業内容や実施時期の精査

質問

3月議会において、本年度予算が可決され、計画に沿って行政運営が進められているが、最近の中東情勢の悪化により原油輸入が滞り、燃料油や石油製品のみならず、石油を原料とする幅広い製品にまで影響が及んでいる。生活を支える多くの分野で、その影響が顕在化してきている。建設資材などは、品薄や価格上昇が続く、予定数量が確保できず、施工業者が対応に苦慮している。こうした状況を踏まえ、本年度の予算にどのような影響が生じているのか。また、必要な対策やリスク管理は。

答弁(村長)

本年度予算は、建設資材費などに、既に一定の影響が生じている。一部事業では、当初予算の範囲内での執行が難しくなる可能性がある。今後、当初予算の範囲内での執行が困難となる事業が見込まれる場合には、精査を行い、緊

急性や必要性、生活への影響などを踏まえ、事業の優先順位を整理していく。一方で、必要な事業について物価上昇等により事業費の増額が避けられない場合には、補正予算による適切な対応をしていく。国内外情勢の動向を注視し、村民生活や行政運営の影響を最小限に収めるため、引き続き、状況を的確に把握しながら、必要な対策を速やかに実施していく。



影響が懸念される原油高騰

問 文化芸術への理解と支援

答 文化芸術を愛する
気運が広がるよう、
創意工夫を凝らす

質問

国内での「大ゴッホ展」は3会場で開催された。福島県では、第1期の展覧会が2月21日から5月17日まで開催され、福島県政150周年を記念する大規模な文化事業として、多くの県民に深い感動を与えた。第2期は、来年6月19日から9月26日に開催予定とされており、このような機会は決して多くはない。村民が芸術文化に触れる文化支援策があつてよいのではない。例えば、公民館事業において、中学生以上を対象に、芸術に関する講座や鑑賞機会の提供など、文化・芸術に親しむ取組を検討してはどうか。

答弁(教育長)

「大ゴッホ展」で、本物に触れた経験は、観覧者にとって生涯にわたり豊かな感性の土壌となる。第2期については、教育委員会として、住民の方や多感な時期にある小・中学生が、優れた芸術文化に親しむ絶好の機会であると考えている。来年の第2期開催に併せ、公民館事業の一環として、より多くの方が参加できるように、一定の費用のご負担をいただながら団体鑑賞ツアーを企画し、予算の範囲内で前向きに検討していく。豊かな感性や創造性を育むことは、心豊かな暮らしに欠かせない生涯学習の根幹だ。村全体に文化芸術を愛する気運が広がるよう創意工夫を凝らした事業展開に努めていく。

中学生が、優れた芸術文化に親しむ絶好の機会であると考えている。来年の第2期開催に併せ、公民館事業の一環として、より多くの方が参加できるように、一定の費用のご負担をいただながら団体鑑賞ツアーを企画し、予算の範囲内で前向きに検討していく。



夜のカフェテラス



絵画の撮影OK

次のページは

ふるさとへの想い シリーズ(59)です

ふるさと鮫川への想い シリーズ⑤9

なつかし 素敵なふる里

小川がさらさらと流れて、紅葉が鮮やかな山間の青生野地区で生まれそだちました。子どもの頃はマンガ本も、テレビも自由に

◆プロフィール

- ・昭和33年 1月4日生
- ・昭和51年 福島県立
塙工業高校卒業

【趣味】登山・スキー・お菓子作り



西多摩郡目の出町(目の出山)

かめ だ とも こ
亀田 友子さん(旧姓 森田)

東京都あきる野市在住(青生野字世々麦出身)

見ることもなく、山野を駆け回り田畑と虫たちが遊び相手、家の外で過ごすことが多かったです。
春は山々が淡い若葉のPATCHワークとなり、ふきのとう・ウド・セリ・タラの芽などの山菜に恵まれて、それらを摘み取るのも食べるのも好きでした。赤いヤマツツジが咲く初夏は、山際のヤマユリの甘い香りに誘われて、蜜を吸い花びらを散らして遊んでいたものです。
秋は登山前に母に連れられてキノコ採り、シメジ・チチタケ・ナラタケ・ホウキタケなど沢山取ったきのこの味噌汁やおかずで朝ごはんを食べていました。動き回った後のご飯は美味しくて、つい時間を忘れて、しばしば遅刻して登校してしまいました。そしてなんと言っても山々の紅葉は好きでした。澄みきった朝日には輝き夕日には染まる紅葉はどんな色が変わり、ポーッと見ていていつまでも飽きませんでした。
冬は囲炉裏か炭火のこたつが暖房だったので、手足のしもやけが痒かったのを覚えています。でも雪が降りだすと嬉しくて積もると丸めて転がして雪玉をあちこちに作ってみることも。早朝は雪の表面が凍りつき、窪地や小川の上を歩く雪渡りは面白くてどこまでも歩いて行きたくなりました。

私はその後実家から離れて、塙の叔母の家にお世話になりながら、高校へ通学しました。卒業後、東京都武蔵野市の電機メーカーに就職し6年間働きました。近くに井の頭公園があり、早朝にジョギングしたり、季節ごとに木々の緑や草花を見によく散歩に出かけたりしていました。

結婚後は、20年間同じ東京都日の出町に住み、2児の子育てをしながらパートで働いていました。今は隣のおきる野市に引っ越して平成25年に介護福祉士の資格をとり職員として働いています。私は山野草が好きなので、今も季節ごとに近隣の山々に登って草花に会い、移ろいゆく紅葉を見てなつかしいふる里を思い出します。

今度帰省した折には、朝日山に登って山野草を見たり、あるいは彼方に富士山が見えたらと思うと楽しみです。送付いただいている「ふる里便り」を見につけ農園や酪農で頑張っている若い方々や地域で仕事しながら行事にかかわっている方の頑張りを頼もしく思っています。季節ごとの地域の写真や子どもたちの笑顔あふれる写真は微笑ましく、より一層ふる里が身近に思われます。離れて知るふる里ですが、これからも応援したいと思っています。

▶金峰山山頂にて(左から2人目)



編集後記

農作業もひと段落してほつとしていこうと思います。これから草刈り等により野外作業が多くなり、熱中症になりやすい時期となりますので、十分気をつけてください。さて、議会においても義務教育学校開校に向けて努めてまいりますので、村民の皆様のご協力をお願いします。
(広報編集委員)